

施術におけるポイント

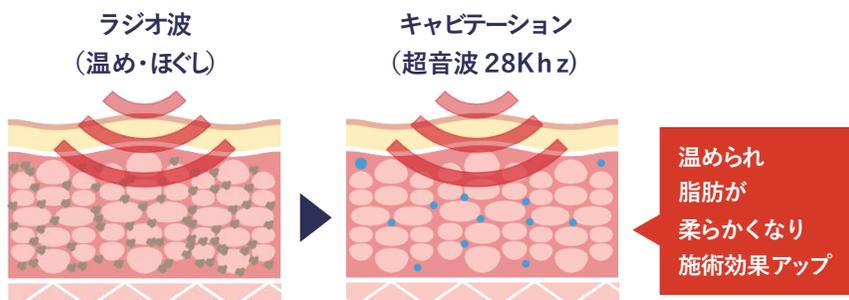
① まずは BODY①【ラジオ波】で温める

脂肪細胞を急にキャビテーションでアプローチするのではなくラジオ波のみでまずは脂肪を温めます。



② 次に BODY①【キャビテーション】で施術

ラジオ波で施術後にキャビテーションをかけることで効果が発揮できます。施術部が温められることにより、体質が改善しエネルギー代謝しやすい身体になっています。



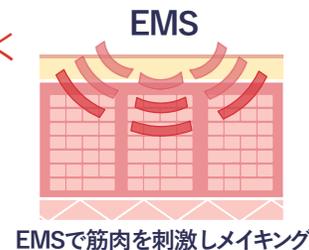
③ BODY②【吸引】で慣れてもらう

次に吸引のみ行い、身体を慣らしませう。



④ そのあとBODY②【EMS】もかけていく

筋肉収縮や筋肉の柔軟性、脂肪の代謝を促すことでリバウンドしにくい体へ導きます。EMSによるボディメイキングで理想のボディラインを作ります。



⑤ ジェルを使わずに FACE③【サーマルフラクショナル】を使用

サーマルフラクショナルはジェルを塗らずに使用することをおすすめします。
(表面に水分が無いほうが好ましい)
もし使用するならば、浸透性が良いサラッとした化粧水でなじませてから使うことをおすすめします。
サーマルフラクショナルのハンドルの持ち方は、まっすぐ打つよりも上に持ち上げるように打つのがポイントです。
小鼻も打てます。



⑥ 専用ジェル「スマートジェル」

シークレットメスでは必ず専用ジェルを使用します。
専用ジェル「スマートジェル」は温めて使うことも可能です。



施術における注意事項/効果的な施術ポイント

ラジオ波・キャビテーションのかけてはいけない箇所・部位

施術における注意事項

《かけてはいけない》2センチ以上脂肪が摘まめない部位
《かけてはいけない》ヘッドが浮いてしまう部位
《かけてはいけない》骨に近い箇所、骨の上にあたる箇所 お顔、リンパ節へのキャビテーションはNG
サーマルフラクショナルとラジオ波は同日の同箇所施術は禁止
キャビテーションの最大施術時間は40分

効果的な施術ポイント

- ✓ 柔らかい脂肪の方（お腹・ヒップライン・内もも）⇒キャビテーション
- ✓ セルライトが多くある方（肉質が硬い方）、肩こり⇒ラジオ波（キャビテーションは20分以上当てると、より効果的です。）

サーマルフラクショナルのかけてはいけない箇所・部位

施術における注意事項

《かけてはいけない》ヘッドが浮いてしまう部位
《かけてはいけない》骨の上、骨に近い箇所
ラジオ波との同日の同箇所照射はNG
頬骨より上の目まわり、瞼、粘膜、首(甲状腺)中央への照射はNG

効果的な施術ポイント

- ✓ 全顔の照射ショット数は最大 200 ショットが目安（半顔 100 ショット目安）
- ✓ 施術間隔は 2 週間に 1 回目安（最短 7 日）

施術におけるポイント

機能別かけてはいけないポイント

- ① EMS(低周波)→体内に金属が埋め込まれている方(骨折治療)
- ② ラジオ波(高周波) →2センチ以上脂肪が摘まめない部位・ヘッドが浮いてしまう部位
- ③ キャビテーション(超音波) →骨の上、近い部位・心臓部・眼球(瞼)の上・副鼻腔・体内に金属が埋め込まれている方(骨折の治療、歯のインプラント)・ヘッドが浮いてしまう部位
- ④ 吸引→たるんだ皮膚、化膿したニキビ部分
- ⑤ サーマルフラクショナル→ヘッドが浮いてしまう部位・首中央・粘膜

施術ペースポイント

ラジオ波*キャビテーション

週2回の施術がオススメ

EMS*吸引*LED

★週2～3回の施術がオススメ

サーマルフラクショナル

★月1度でも効果あり

2週間に1回ペースを5～6回お肌が安定してきたら月1回ペースでのお手入れが目安

★理想は2、3週間に1回

施術における注意事項

★ラジオ波とサーマルフラクショナル
同日の同箇所禁止

★サーマルフラクショナル
全顔の最大照射ショットは200ショット
目安(半顔100ショット目安)